

菊を楽しむ 重陽の節句

ところで、秋の花の代表「菊」を用いる「重陽の節句」をご存知でしょうか。

古くから中国では奇数は縁起の良い「陽の日」とされ、一番大きい陽の数である「9」が重なる9月9日を「重陽」と呼び、長寿をもたらし、強い香りで邪気を祓うとされていた菊を用いて無病息災や不老長寿を願う行事です。

当日は、日本酒に菊の花を浮かべたり、前日に菊の花に綿を被せ、翌朝菊の香りを含んだ綿で肌を拭いて清めますが、もっと気軽に1輪花器に生けて健やかな日々が続くように願ってみてはいかがでしょうか？

「菊」というと「御供花」とイメージされる方もいらっしゃると思いますが、今では花束に使いたくなる、まるで洋花のような菊が約6000品種以上ありますので、オシャレな花器に合わせて楽しむのも面白いですよ！

普段菊は選ばないという方も、この機会にリビングやテレビの横、ご自分のお気に入りの場所に「秋」を飾ってみてはいかがでしょうか？



④ フェミニンなころんとした可愛い花器ですが、トクサやフレモコウがあることで可愛らしくなりすぎずに楽しめます。大人可愛くがうアレンジメント。

「和花」×「花器」＝新しい秋

まだまだ暑い日が続きますが、少しずつ秋の気配を感じる季節となりました。

秋になると、ワレモコウ、女郎花、桔梗など心落ち着く和花を飾りたくなりますが、「和」||「落ち着いた雰囲気の花器」に合わせるという方が多いのではないのでしょうか。

日本らしい和の花器に生けるのはもちろん風情があり素敵ですが、いつもは合わせないカッコイイ花器に和花を生けてみるとまた違った美しさを見つかることが出来ます。

スタイリッシュな花器に合わせればモダンな雰囲気のお部屋にも似合い、「和花」||「和室に飾るもの」というイメージがきつと覆されず、合わせる花器ひとつで、まるで模様替えしたように素敵なお部屋を演出してくれることでしょう。いつもはチャレンジしない「和花」×「花器」でいつもと違った秋を楽しんでみるのも良いのではないのでしょうか？

また、お家の中だけでなく、外も「秋」にしたい方にはこの時期とても人気で、花持ちがよく、赤やオレンジがオシャレな「フォーチュンペゴニア」がおおすすめです。

ご自宅にももちろん、普段の感謝を込めて敬老の日プレゼントしてみてもいかがでしょうか。

少し傳く、趣のある「秋」と「和花」を両方楽しむ新しい飾り方を、おうち時間を楽しむ一環として探し、「新しい秋」に出会ってみてください。



③ 1輪だけでも可愛いですが数輪生けるとよりおしゃれに。濃い紫がとてみ映える花瓶は割れないガラスなので、小さいお子様がいる方にもおすすめです。

information..... 新刊書籍のご案内

『園芸道具の選び方・使い方 「コツ」の科学』

園芸や家庭菜園の作業には、切る、掘る、耕す、まく、しぼる、張るなどさまざまな作業があります。作業に合った道具を使うと、園芸作業が楽になるとともに、時短となり、結果として植物がよりよく育ちます。園芸文化協会の園芸のプロが園芸道具や作業を紹介します。「道具」とは「道具」を使って「楽」をすることです。弊社の小笠原左衛門尉亮軒、小笠原智もコメントしています。お気に入りの園芸道具を探してみませんか？



④ ケイトウやシックなゴシキトウガラスがより秋らしさを演出する寄せ植えは、落ち着きもありながら、目を引く黄色の鉢に植えこむことでポップさも兼ね備えます。一鉢あるだけで華やかに！



⑤ まるでメインディッシュかのような、菊と実ものが秋らしさを演出するアレンジメント。黄色とも黄緑とも表現しがたい色がより大人のイメージに合います。



⑥ シックな落ち着いた花器に生けることで高低差のあるワレモコウとミズヒキの繊細さが引き立ちます。モダンなお部屋に飾ってみてはいかがでしょうか？

とにかくカンタン 原種チューリップ

まだまだ暑い日が続きますが、少しずつ秋の気配が近付いてきています。さて、9月も後半に入るといよいよ秋植え球根の販売が始まります。

チューリップ、スイセン、ヒヤシンス、ユリなど秋植え球根のレポートは非常に豊富です。その中でも今まではちょっと地味な存在だった原種系のチューリップがここ数年人気急上昇です。品種改良を重ねたチューリップとは違い、野生種やそれに近いものを「原種系チューリップ」と呼びます。原種とはいえ種類はとて多く、100~150種類ほどあるといわれています。

原種のチューリップは、元々は野草として育てていたため、病気などにはとても強いのが特徴。一般的なチューリップは毎年掘り上げないと夏の暑さで球根が腐ってしまいがちですが、原種チューリップは3年ぐらいいは植えっぱなしで育てることができます。

原種系チューリップに限らず最近の秋植え球根は、かわいく咲いて、植えっぱなしで掘り上げることをしなくても毎年咲いてくれるものが人気です。手間なくカンタンに楽しめるのが原種チューリップのいいところです。

一般的なチューリップに比べて花は小ぶりですが背丈も10~30センチくらいです。豪華に咲き誇るチューリップも素敵ですが、可憐に可愛らしく咲く原種系はまたひと味違う良さがあります。

*秋植え球根は9/15以降の販売を予定しています。あまり早く植えすぎると暑さで球根がいたむことがあります。販売は始まりますが、植え込みは10月以降がよいでしょう。



① ワルミエンス



② ステラーク



③ ホンキートンク



④ ペパーミントスティック



⑤ 秋に人気のフォーチュンペゴニアは1鉢あるだけで華やかに！アンティークな鉢に植えこめばよりおしゃれに楽しめます!!



⑥ リンドウとリキュウソウのシンプルな組み合わせですが、シンプルにすることでより美しさが際立つアレンジメントです。動きのあるリキュウソウが繊細さを物語り、和室はもちろん、洋室にもぴったりです。